

NEWS LETTER

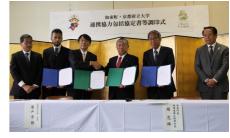
和束町と連携包括協定を締結しました



vol. 5

2017年12月6日(水)、和東町と京都府立大学との連携・協力の取組みを今後一層推進するため、包括協定を締結しました。町内で行われた調印式では、築山崇学長と堀忠雄町長が、協定書に署名した後、今後の連携・協力を確認しました。

本協定は、相互の人的交流や地域資源の活用により、 地域社会の発展と人材の育成を図ることを目的に締結 するものです。今後、幅広い分野で和東町の地域課題に



調印式で握手を交わす築山学長と堀町長

対応し、府南部地域のさらなる発展に寄与するとともに、学生が地域で学ぶ機会を拡充し、実践的な 人材育成を推進していくことになります。

締結後の取組みとしては、まずは和束町史編さん事業を連携して実施します。本学文学部歴史学科 の教員が町史編さん委員及び町史編集委員に就任。学生も地域に入り、町史編さんの歴史資料の調査 等を行うほか、町民と協力してまちづくり施策を考える予定です。

なお、和東町と本学は、これまでから、京都府立大学地域貢献型特別研究(ACTR)を活用した地域 史資料の調査や、京都三大学教養教育共同化事業宿泊研修の実施、京都地域未来創造センターが共催 する地方創生実践塾(主催:(一財)地域活性化センター)の開催地となるなど、様々な連携・協働を行っ てきました。このたびの協定締結により、さらに幅広い分野で本学と和東町との連携・協力を促進し、 府南部地域の発展と人材育成に取り組んでまいります。

※町史編さん事業は、和束町の教育委員会等機能を担う相楽東部広域連合が実施主体となるため、上記協定の締結に続き、同連合と府立大学の間で連携協力に係る覚書を締結しました。

連続自治体特別企画セミナー

第5回KIRPセミナー

2月5日(月)Ⅰ5:00~Ⅰ7:30

於:京都京都府立大学下鴨キャン パス内 「稲盛記念会館」

「景観の保全と地域づくり〜 持続可能な営みの変化をつむ ぐ景観計画をめざして〜」

*詳細・お申込はKIRPのホームページ・ Facebookをご覧ください。

Tel & Fax: 075-703-5319 mail: kirpinfo@kpu.ac.jp

〒606-8522

京都市左京区下鴨半木町1-5

京都府立大学内教養教育共同化施設 「稲盛記念会館」]階

京都府立大学 京都地域未来創造センター (KIRP)



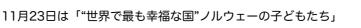
公開講座

桜楓講座 (秋の部) を開催しました



11月11日(土)と23日(木・祝)に公開講座「桜楓講座(秋の部)」 を開催しました。

11月11日は「日本の水、世界からの水、京都の水、"私"からの水」と題して、生命環境科学研究科の細矢憲教授にお話しいただきました。日頃、蛇口をひねって当たり前のように使っている水。しかし世界では安全な水が必要な量だけ手に入らない地域もたくさんあります。日本では、自然に発生するアオコの有毒性、人間が飲む薬の排出の影響などが問題になっています。講座では、こうした事例や研究について、データを元に、わかりやすく図やイラストを用いて解説があり、様々な角度から水について考える機会となりました。





(上)11/11講座 (下)11/23講座

と題して、公共政策学部の上掛利博教授にお話しいただきました。国連の2017年版「世界幸福度報告書」によると、"世界で最も幸福な国"であるノルウェー。ノルウェーでは、1歳から保育園に通う権利があり、18歳で大人として自立します。また男性も育児休暇を必ず10週間は取得することが義務付けられており、夫婦で子育てをする社会が実現しています。こうしたノルウェーの保育や教育、若者の実態について、多数の映像や最新の写真を使いながら解説がありました。

受託研究

京都府との協働研究「実験を通じた技術者のスキルアップ等により住宅耐震化促進を図る事業」

京都府では「京都府建築物耐震 改修促進計画」に基づき、2025年 度までに木造住宅の耐震化率を、 83%から95%にする目標を掲げて、 耐震改修を促す事業を行っていま すが、専門家による耐震診断は進 んでも耐震改修に繋がらないケー スが多くあります。そのため、本 学の教員が中心になって、建築士 などの専門家を対象にして、木造 建築に親しみを持ち、耐震改修に ついて理解を深めるスキルアップ 実践講習を行っています。





スキルアップ実践講習の様子

1回目(10月16日)は京都市右京区京北町へ出かけ、北桑木材センター(原木市場)および京北プレカット(製材所)を視察し、木材が森林から切り出され、丸太から製材へ加工される過程を見学しました。2回目は(12月15日)は府大で、木材の物性(含水率やヤング係数)への理解を深めための実験を行いました。3回目はこれまでのまとめを行うとともに、市町村の担当者との意見交換をして住宅耐震化の普及に向けての課題整理と提案を行う予定です。

<研究実施体制>

京都府立大学大学院生命環境科学研究科 環境科学専攻 建築構造·材料生産学研究室(田淵准教授)

森林資源学研究室(神代助教)

京都府建設交通部建築指導課

株式会社里仁舎

京都府立大学京都地域未来創造センター

第13回 京都から発信する政策研究交流大会 公共政策学部の窪田ゼミ、玉井ゼミが受賞



12月3日にキャンパスプラザ京都で開催された「第13回京都から発信する政策研究交流大会」(主催:大学コンソーシアム京都)において、本学公共政策学部2回生の窪田ゼミの「「ヤングレビュー」による自治体政策形成過程の改善」がパネル発表部門の最優秀賞である大学コンソーシアム京都理事長賞を、同玉井ゼミの「公共施設活用のポテンシャル〜南丹市を事例として〜」が口頭発表部門の優秀賞を受賞しました。

窪田ゼミは、自治体が若者の意見を聞き、政策に反映させることの重要性を明らかにし、理論と実態を踏まえた新たな政策評価制度「ヤングレビュー」を提言。「ヤングレビュー」は、評価者として選出された若者が議論し、それを行政職員が参考にするという評価手法です。玉井ゼミは、公共施設の有効活用をテーマに、全国の自治体が抱える諸問題やその背景の調査、公共施設有効活用事例の収集・分析を行い、南丹市に対して公共施設の活用策を提案しました。

本大会は、都市が抱える問題・課題を解決するための研究を行う大学生・大学院生が日頃の研究成果を発表する場として、2005年度から開催されています。今年度は、パネル発表16組、口頭発表56組が出場しました。窪田ゼミは2年連続でパネル発表部門最高賞受賞の快挙です。当センターは受託事業「南丹市行政評価・行政改革調査研究業務」の一環で窪田ゼミと玉井ゼミの調査研究活動に協力しています。





窪田ゼミの皆さん

玉井セミ発表の様子

産学連携リエゾンオフィスだより 精華サテライトオフィスの動きについて

精華サテライトオフィス担当コーディネータの上田薫です。本学の産学連携リエゾンオフィス開設に伴いサテライトオフィスが精華キャンパスに設置されました。9月から関連企業の要望をお聞きしながら、大学の研究成果とのマッチングにより産学連携による分野融合などの可能性を探りながら取組みを進めています。精華キャンパスが立地する京都府南部エリアは「けいはんな学研都市」に立地する先端企業の研究開発拠点、開発を支える周辺技術を持つ優良企業が集中し、ともに成長し発展しています。今まさに健康・医療、エネルギー・ICT、農業・食料、文化・教育などの各分野でイノベーションが加速されています。活力ある企業さま、研究機関と本学をつなぐ役割を担い、広く世の中に貢献できれば、そのお手伝いができればと一層の努力を続けてまいりますので、よろしくお願い致します。

少々、自己紹介をさせて戴きます。2001年から「けいはんな学研都市」に産学公連携を推進する目的で設置された「京都府中小企業技術センター」けいはんな分室で、ものづくり系企業の皆様を対象に活動してきました。定年後は、学研都市推進機構で、「今の世の中自前主義では対応できない」、「社内外の力の結集が鍵」、「常に種蒔き3K1Y:好奇心・行動力・根気/ヤル気」をモットーに、新技術・新分野の創出から収益化に向けてオープンイノベーションのマッチングのお手伝いをしています。本学での活動と関連していますので、併任で2足の草鞋ですが違った角度でお手伝いができるかな、と思っています。